

〔科目名〕 経営革新論Ⅰ	〔単位数〕 2単位	〔科目区分〕
〔担当者〕 生田泰亮 Ikuta Yasuaki	〔オフィス・アワー〕 時間: 後ほど指示します。 場所: 1305 研究室 (大学院棟)	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 経営において、新たな視点や価値を見出すものとしてのイノベーションは、その実現可能性や持続可能性をも問わなくてはならない。こうした意味から「事業創成のプロセスとしてのイノベーション」を学ぶことは、やがてビジネス・リーダーとして期待されるみなさんにとって、学んでおくべき重要な内容である。 前半は、シュンペーター、ドラッカー等をもとに、イノベーション本来の意味、イノベーションが経営や経済に与える影響について講義する。中盤からは、「事業創成の理論(小林敏男『事業創成 イノベーション戦略の彼岸』有斐閣、2014年。)」をもとに「イノベーションと事業」の関係を講義する。様々な事業での実践例をもとに、創造的な技術やアイデアが持続可能な事業と成るまでのプロセスを学び、真のイノベーションとは何かを考える。 ビデオ学習により、学んだ概念やモデルの理解度を深めることとする。 また、秋学期開講の「経営革新論Ⅱ」と大いに関連性があるので、両講義ともに受講することを強く推奨する。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 経営経済の問題を考える際に「イノベーション」は、よく耳にする言葉であるが、本講義では、イノベーションの本来の意味を理解し、現代企業の事業戦略をしっかりと学習し、戦略的発想力、戦略策定力を身につけてほしい。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 中間目標:様々な企業の事業戦略を読み解く力を身につける。 最終目標:事業創成(事業の創造から実行可能性、持続可能性まで)を考える力を身につける。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 専門用語等で難しいとの意見がありますが、使用している教科書のレベルが極端に難解であるということはありません。事前に予習し、わからないことは、講義中、講義終了後、オフィスアワーなど、遠慮なく質問してください。		
〔教科書〕 小林敏男『事業創成 イノベーション戦略の彼岸』有斐閣、2014年。 ※経営革新論Ⅱでも使用する。 他、適宜資料を配布する。		
〔参考書〕 伊丹敬之『先生、イノベーションって何ですか?』PHP 研究所、2015年。 J.A.シュンペーター著、清成忠男編訳『企業家とは何か』東洋経済新報社、1998年。 P.F.ドラッカー著、上田惇生編訳『イノベーションと企業家精神【エッセンシャル版】』ダイヤモンド社、2015年。 C.クリステンセン著、玉田 俊平太 監修、伊豆原 弓 翻訳『イノベーションのジレンマ―技術革新が巨大企業を滅ぼすとき [増補改訂版]』翔泳社 2001年。 A.ガワー、M.A.クスマノ著、小林敏男監訳『プラットフォーム・リーダーシップ―イノベーションを導く新しい経営戦略』有斐閣、2005年。 G.A.ムーア著、川又政治訳『キャズム Ver.2 増補改訂版 新商品をブレイクさせる「超」マーケティング理論』翔泳社、2014年。 M.E.ポーター著、竹内弘高訳『[新版] 競争戦略論 (Ⅰ) (Ⅱ)』ダイヤモンド社、2018年。 O.E.ウィリアムソン著、浅沼萬里、岩崎晃訳『市場と企業組織』日本評論社、1980年。		
〔参考書〕 なし		
〔前提科目〕 経営学基礎論を履修し単位取得していること。		
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 小レポート (50%) ※複数回実施する予定。詳細は講義内で説明する。 学期末の定期試験 (50%) ※無断欠席は評価の際に減点とする。		

<p>〔評価の基準及びスケール〕</p> <p>80%以上 A 79-70% B 69-60% C 59-50% D 49%以下 F</p>	
<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</p> <p>事例においては、かなり難解な技術や様々な業界について取り上げることになります。専門技術や未知の分野に対して学習する基礎力が身につくことを期待しています。丁寧に説明するよう心がけますが、予習をしっかりとしてください。様々なイノベーションの事例を学び、柔軟な思考力を養って欲しいと考えています。質問や学習相談などは遠慮なく。</p>	
<p>〔実務経歴〕</p> <p>該当なし</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): イントロダクション</p> <p>内 容: 講義内容と進め方について (※講義についての説明を行うのでシラバス持参のこと)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか): シュンペーターのイノベーション論(1)</p> <p>内 容: 経済発展と経営者、企業者の役割</p> <p>教科書・指定図書</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか): シュンペーターのイノベーション論(2)</p> <p>内 容: 新結合としての5つのパターン</p> <p>教科書・指定図書</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): ドラッカーのイノベーション論(1)</p> <p>内 容: イノベーションのための7つの機会</p> <p>教科書・指定図書</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): ドラッカーのイノベーション論(2)</p> <p>内 容: イノベーションと企業家精神</p> <p>教科書・指定図書</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか): 事業創成の理論(1)</p> <p>内 容: 教科書 第1章 古典的戦略論</p> <p>教科書・指定図書</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): 事業創成の理論(2)</p> <p>内 容: 教科書 第2章 イノベーションのジレンマ</p> <p>教科書・指定図書</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか): 事業創成の理論(3)</p> <p>内 容: 教科書 第3章 オープンイノベーションへの展開</p> <p>教科書・指定図書</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか): 事業創成の理論(4)</p> <p>内 容: 教科書 第4章 プラットフォーム・リーダーシップ</p> <p>教科書・指定図書</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか): 事業創成の理論(5)</p> <p>内 容: 教科書 第5章 キャズムの発見</p> <p>教科書・指定図書</p>

第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):事業創成の理論(6)</p> <p>内 容:教科書 第6章 エコロジカルニッチの薦め</p> <p>教科書・指定図書</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):事業創成の理論(7)</p> <p>内 容:教科書 補論 組織間関係の経済学</p> <p>教科書・指定図書</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):ケース・スタディ(1)</p> <p>内 容:ビデオ学習を予定</p> <p>教科書・指定図書</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):ケース・スタディ(2)</p> <p>内 容:ビデオ学習を予定</p> <p>教科書・指定図書</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):講義全体のまとめ</p> <p>内 容:</p> <p>教科書・指定図書</p>
試験	<p>有(詳細は後日、指示する)</p>